

無いため上り下りに大変な思いをしている人がいる。バリアフリーの観点からエレベーターを設置する必要があると思うが所見を。

答

高齢者や障がい者など、全ての人が快適に安心して移動できる環境づくりは重要。エレベーターの設置は、構造やスペースなどの課題があるが、踏切の横断距離や、横断歩道橋の上下の移動距離が長いことなども踏まえ、バリアフリー化を検討していく。



相生踏切に設置されている横断歩道橋

路 姪浜駅と橋本駅間における道路環境の改善を
自 民

問

姪浜駅と橋本駅を結ぶ都市計画道路姪浜飯盛線は、西区の道路交通の円滑化を図る上で重要な幹線道路であり、事業実施に向けてしっかりと検討して早急に整備を進めてもらいたい。今後の取り組みを問う。

答

福重交差点から橋本2丁目までの未整備区間は、道路整備アクションプラン2024において、調査・検討路線に位置付けていることから、財政状況を踏まえた事業実現性や、橋本駅前土

地区画整理事業の動向などを勘案し、調査・検討を進めていく。

路 野多目校区のガンセンター入口交差点の渋滞・事故対策を
自 民

問

ガンセンター入口交差点はほぼ毎日渋滞し、事故も頻発に起こっている。抜本的な交差点の改良を行い、渋滞対策と事故対策の両輪で進めていく必要がある。横断歩道橋の設置や地下通路の導入など、実効性のある対策に速やかに着手してもらいたい。所見を問う。

答

横断歩道橋の導入や抜本的な交差点の改良などの対策については、課題もあるが、市が率先して、国などの関係機関と連携しながら、スピード感を持って、しっかりと取り組んでいく。

道 100周年を迎える本市水道水の未来に向けた決意を問う
公 明

問

通信機能を備えた水道スマートメーターの導入、世界一の低い漏水率維持を目指した人工衛星画像などの新技術の活用、カーボンゼロに貢献するための水力発電のさらなる導入など、次の100年に向けた決意を問う。

答

水道スマートメーターの導入、人工衛星画像を活用した漏水調査、より小規模なマイクロ水力発電設備の導入の検討など、これからの100年も安全で良質な水道水を安定供給していくため、持続可能な水道事業の構築に向けてチャレンジしていく。

境 脱炭素に向けた取り組みを加速すべき
公 明

問

本市は、脱炭素に向けて、他都市に負けないポテンシ

ヤルがあると確信している。脱炭素先行地域に選ばれる取り組みをぜひお願いしたい。脱炭素に向けた取り組みについて所見を問う。

答

カーボンニュートラルに積極的に取り組むため、地球温暖化対策実行計画を策定した。脱炭素型ライフスタイル・ビジネススタイルへの転換や再生可能エネルギーの利用拡大などに加え、今後、脱炭素先行地域など国の制度の活用も進め、目標の達成に向けて取り組みを加速していく。

総 総合計画、国際交流、財政、地域コミュニケーション、防災など
務 国葬に際し、記帳所や献花台設置、甲旗掲揚はやめるべき
市 民 小 民 市 民 小 民 市 民 小 民

問

一政治家の家族葬の日に記帳所や献花台を設置したことは問題である。安倍元首相の国葬は行うべきではなく、国葬の当日、記帳所・献花台の設置および市施設や学校に対し、甲旗掲揚を求めるときではないが所見を。

答

民主主義を擁護する決意を多くの市民と共有するとともに、追悼したいという市民の思いを受け止める場を提供するため、記帳所や献花台を設置した。国葬は、国が行う儀式であり、国から示される考え方や、通知などを踏まえ、適切に判断していく。

務 統一協会や関連団体との関わりについて調査すべき
共 産

問

統一協会と関連団体について、反社会的集団だと規定するとともに、表彰や名義後援、公共施設の使用などにおいて市が

お墨付きを与えた実績が無いかなど、全庁にわたる調査を行うとともに、市長自身と団体との関係も調査し公表すべきではないか。

答

旧統一教会については、社会的な問題がある団体と認識しており、表彰などについては調査や取り消しも含め、適切に対応している。なお、私(市長)自身は旧統一教会や関連団体との関わりはない。

※会派の意向として統一協会と表記するもの

市 民 騒音などに悩まされる空港周辺地区のサービス向上を
自 民

問

博多区民は、区役所以外では、どこで住民票を取得できるのか。なお、福岡空港は騒音などの問題が周辺住民を悩ませており、空港を身近で便利な施設と感じてもらうため、利便性が高い証明サービスコーナーの空港内設置について検討を要望しておく。

答

住民票は居住区に限らず、市内全ての区役所・出張所・証明サービスコーナー、34の郵便局のほか、郵送請求での取得も可能であり、マイナンバーカードがあればコンビニでの取得やオンラインでの申請も可能である。

市 民 小 民 市 民 小 民 市 民 小 民 市の人口増は高齢者の増加によるものではないか
無 所 属

問

市は人口が毎年1万人増えていると発表しているが、そのうち60%から80%は65歳以上ではないのか。本市の15才未満の人口は2年前から減少が始まっているのではないか。

答

若者世代、生産年齢人口とも増加しており、議員指摘の高齢世代が増えている状況ではない。15才未満の年少人口は令和3年に初めて減少したが、これは全国的な傾向で、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う産み控えなどの影響もあると考えており、今後の動向を注視していく。

子 ども 育 成、教 育 等

教 育 中学校の学校給食における喫食時間の十分な確保を
共 産

問

給食の量が増え喫食時間が短くなることに不安を覚え、摂食障害になった中学生がい込まれていないかなどを把握するとともに、喫食時間を十分に確保できるように、教育委員会が責任を持つべきと思うが所見を。

答

各学校では、適切な給食時間の設定がなされており、担任などは、生徒の喫食状況などの把握に努め、個別の配慮も行っている。今後とも、給食時間の確保はもとより、生徒たちの実態把握に努め、適切に対応していく。

教 育 果たすべき役割が大きい学校にこそ教員の加配を
無 所 属

問

より丁寧な学習指導や生活指導、家庭への福祉支援などの果たすべき役割が大きい学校にこそ、多くの人員配置が必要である。児童生徒支援加配という制度の運用の在り方を問う。

答

児童生徒支援加配については、学力の状況を踏まえた

学習指導上の課題や、不登校などの生徒指導上の課題を勘案した上で、加配する学校を決定しており、配置した教員はチームティーチングなどに従事することで、児童生徒へのきめ細かな指導を推進している。

子 ども 子ども習い事応援事業の対象世帯の拡大を
令 和 会

問

子ども習い事応援事業は、支援の対象世帯が生活保護または児童扶養手当世帯に限定され、利用できる市民はごく一部である。この事業の利用が広がるように、対象を拡大してはどうかと考えるが所見を問う。

答

子ども習い事応援事業は、令和4年度から新たに実施しており、まずは、本年度の事業をしっかりと進めていくこととしており、より多くの対象者に利用してもらえるように努めていく。来年度の方針については、実施状況などを踏まえて検討していく。

このほかの主な質問

- ふくおか働き方改革推進企業認定事業の推進について
- 国民健康保険料および介護保険料の負担軽減について
- スケートボードの振興について
- 福岡市が目指す都市像について
- 安倍元首相の記帳所設置について
- 医療的ケア児者とその家族の支援について
- 子ども若者の自殺対策について